CITY WATCHING

クローズアップ

らげる在宅緩和ケア医として活がんにまつわる痛みや辛さを和17年間、外科医を勤め、現在は うに亡くなっていきます」 動している。 和ケアを選択 人生だったと言葉を残し、 人生の最終章を共に楽 外科医の頃は、心臓マッサ 「患者さんのほとんどは、 4月19日出から前橋シネマハ 萬田さんの活動と在宅緩 した家族の物語を と萬田







命をつなぐ行動を学ぶ

CLOSE UP

2月22日、小5から中学生ま でを対象にジュニア救命トライ アルを初開催しました。心肺蘇 生法やAEDの使い方、119番通 応急手当などを学習し、最 後にチームで想定訓練に挑戦。

ぐ行動を実践しました。



気付きに出合う企画展

アーツ前橋で企画展「はじま りの感覚」を1月25日から3月 23日まで開催しました。見るだ けでなく、聞く、触るなど、さ まざまな感覚で楽しめる作品の ほか、靴を脱いで、座ったり寝 転んだりしながら鑑賞できる作 品も展示。訪れた人たちはさま ざまな作品を楽しみました。

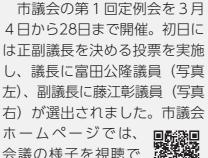






市議会正副議長が決定

し、議長に富田公隆議員 会議の様子を視聴で きます。



路線を築いてい **了承を得たうえで、** 独自の看取り

えてもらうようにしている。 や家族からの、先生に会えて良 る前には、家族へ感謝の言葉を伝 ではありません。 とが辛いのです」と萬田さん。 に過ごすことを基本とし、 萬田さんの患者は好きなよう がん患者は死ぬことが辛 好きなように生活できな ありがとう、 患者



語る萬田さんの今後にも注目

くさんの人に見てほしいです」 れていない世界だと思うので、

患者にとって辛いのではないかさん。勤務1年目からその治療がれる患者の様子を見てきた萬田

人工呼吸などの延命治療がさ

がっている。

「上映する映画は、

あまり知ら

が萬田さんのやりが

いに つ

駆られました。これまで農業に携

自分も作りたいという思い

苺屋たくみを紹介 たそのイチゴのおいしさに感動 森田匠さんが 「赤城の恵」 た匠さん。 。それまでイチゴがったのは、親が買っ たまたま口に

ったことのない匠さんの新たな への挑戦を応援



— channel 🕸 — 苺屋たくみ

2 027-898-5841



左から優紀さん、彩生ちゃん、匠さん

の恵ブランド認証受証者となった のコーナー。今回は新たに赤城旬な農産物や生産者を紹介する

苺屋たくみを盛り立ててい

をおいしくするためのこ

ブのステビアや有機

から就農し

、現在も夫婦二

一人三脚で ます。

肥料を使用すること。

そうするこ

チゴにツヤや甘さが生まれ

産物やそれらを加工したもののう する逸品。2月の審査で苺屋たくみ イチゴが新たに認証されました。 審査で選ばれた本市がお勧め チゴ農家を志す 前橋産農林水

ンも着実に増や、 さと納税返礼品でもリピー スンは耕作面積を2倍に増やしま 今後は全国 さらにおいしいイチゴ作りを後は全国への販路拡大を目指 その の注文が入ります。 それでも間に合わな いに来てくれます。口いに来てくれます。口 おいしさで市外 です」と匠さん。今シ 増えて 人がおいしかったいで苺屋たくみの くことが一 σ

ふる

市役所 〒371-8601 大手町二丁目12-1 ☎ 027-224-1111 🚻 027-224-3003